

平成8年度 年報

事業報告

展覧会事業

・常設展

第1期 1996. 4/2(火)～7/14(日)

前期 4/2(火)～5/26(日) 後期 5/28(火)～7/14(日)

展示室1 新収蔵品を中心に

展示室2 新収蔵品、坂井コレクションを中心に

展示室3 前期 新収蔵品 濱谷浩「裏日本」と「學藝諸家」を中心に
後期 主張する素材

第2期 1996. 7/16(火)～10/20(日)

前期 7/16(火)～9/1(日) 後期 9/3(火)～10/20(日)

展示室1 前期 日本画の逸品Ⅰ(東京画壇)

後期 日本画の逸品Ⅱ(東京画壇)

展示室2 大光コレクション／特別公開アンドリュー・ワイエス

展示室3 前期 ルネッサンスの版画 デューラーとバルバリ

後期 ナビ派の版画 ドニとボナール

第3期 1996. 10/25(金)～12/23(月)

前期 10/25(金)～11/24(日) 後期 11/26(火)～12/23(月)

展示室1 特集展示 三輪晁勢・晁久

展示室2 '50年代の洋画 戦後の人間像

展示室3 前期 特集展示 田畑あきら子

後期 亀倉雄策Ⅲ '50年代再考

第4期 1997. 1/4(土)～3/23(日)

前期 1/4(土)～2/16(日) 後期 2/18(火)～3/23(日)

展示室1 前期 白の表情

後期 横山操・加山又造とその周辺

展示室2 '60年代の洋画

展示室3 前期 リヴィエールの版画

後期 深沢索一の版画と街の表情

・企画展(詳細はトップページの「今までの企画展」をご覧ください)

1996. 4/13(土)～5/19(日)

ポテロ展

1996. 8/1(木)～10/17(木)

エルミタージュ美術館特別名品展

1996. 11/1(金)～12/15(日)

戦後の書・その一変相 江口草玄

1997. 2/15(土)～3/23(日)

横山操・加山又造展

・新潟県民会館ギャラリーでの企画展

1997. 3/1(土)～3/20(木)

シリーズ新潟の美術 '97

・共催展

第51回新潟県美術展覧会 長岡展

1996. 6/8(土)～16(日)新潟県立近代美術館

第27回新潟県ジュニア美術展覧会 長岡展

1997. 1/4(土)～1/12(日)新潟県立近代美術館

普及事業

・巡回ミュージアム

当館の収集活動の成果を披露するとともに、広く県民に美術鑑賞の機会を提供し、文化振興をはかるために所蔵作品より30点を選定し実施。

1996. 9/10(火)～9/19(木) 安塚町町民会館

1996. 9/22(日)～10/1(火) 村松町さくらんど会館

1996. 10/4(金)～10/13(日) 青海町総合文化会館さらら青海

・講演会等のイベント

1996. 4/20(土) ボテロ展講演会

講師 建島哲(多摩美術大学助教授、美術評論家)

演題 「現代彫刻とボテロ」

1996. 8/10(土) エルミタージュ美術館特別名品展記念講演会

第1回 古代ギリシア・ローマ部門

講師 福部信敏(跡見学園女子大学教授、西洋古代美術史)

演題 「アクロポリスとパルテノン神殿」

1996. 8/24(土) エルミタージュ美術館特別名品展記念講演会

第2回 東洋美術部門

講師 中野照男(東京国立文化財研究所美術第一研究室長)

演題 「中央アジアの寺院装飾に現れた神と人間」

1996. 9/7(土) エルミタージュ美術館特別名品展記念講演会

第3回 西洋美術部門

講師 前川誠郎(当館館長)

演題 「エルミタージュ美術館特別名品展の見どころ」

1996. 10/5(土) エルミタージュ美術館特別名品展記念講演会

第4回 ロシア文化史部門

講師 新田喜代見(埼玉大学講師)

演題 「ロシアの聖像画(イコン)とその巨匠

アンドレイ・ルブリョフ」

1996. 10/12(土) エルミタージュ美術館特別名品展記念講演会

第5回 原始文化史部門

講師 鴨川和子(民族学者)

演題 「なぜエルミタージュに原始芸術の

最高級コレクションがあるか」

1996. 11/23(土) 戦後の書・その一変相 江口草玄 公開座談会

話題 「江口草玄を語る」

話者 江口草玄(書家)

菅原教夫(読売新聞文化部)

司会 松矢国憲(当館美術学芸員)

1997. 3/1(土) 横山操・加山又造展講演会

講師 尾崎正明(東京国立近代美術館企画・渉外係長)

演題 「戦後日本画と横山操・加山又造」

1997. 3/15(土) シリーズ新潟の美術 '97 記念シンポジウム

会場 新潟県民会館 2 階 第 1 会議室

テーマ 新潟の美術

パネリスト 大倉宏(美術評論家)

大嶋彰(洋画家、上越教育大学助教授)

佐藤晴夫(風の原野編集室、新潟日報「美術時評」執筆)

宮野浩(洋画家、阿賀北美術協会会長)

・ミュージアムコンサート

1996. 9/21(土)

エルミタージュ美術館特別名品展開催記念 小杉真二ピアノコンサート

演奏家 小杉真二 (ピアニスト)

曲目 ベートーヴェン

ピアノソナタ第 26 番変ホ長調作品 81a 「告別」

ショパン

夜想曲第 16 番変ホ長調作品 55-2

練習曲ハ短調作品 10-12「革命」

バラード第 4 番へ短調作品 52

尹伊桑

ピアノのための 5 つの小品(1958)

ラフマニノフ

ピアノソナタ第 2 番変ロ短調作品 36

1997. 3/8(土)

新潟の美術 '97 ミュージアムコンサート フルートとオカリナの調べ

会場 新潟県民会館ギャラリーロビー

演奏家 榎本正一 (フルート)

後藤靖子 (フルート)

曲目 ヨハン・シュトラウス ラデツキー行進曲

喜多郎 シルクロードのテーマ

ロブレス コンドルは飛んでゆく

喜納昌吉 花

バッハ トリオ・ソナタより 他

1997. 3/23(日) 14:00~14:45 15:00~15:45 16:00~16:45

水嶋一江 インスタレーション・ミュージック

ストリンググラフィ アンサンブル '97

会場 新潟県立近代美術館 2F ギャラリー

作曲・構成 水嶋一江

出演 水嶋一江 新林和朋 小池千尋

音響 高橋周作

制作協力 スタジオ・イヴ

・映画鑑賞会

第1回 1996. 5/11(土) 親子で楽しむ作品

「がんばれベアーズ」

第2回 1996. 7/13(土) 実験映画

「幻魔の巨人 ヤン・シュワンクマイエルのワンダーランド」

第3回 1996. 9/14(土) アートドキュメンタリー 芸術の世界

「マネーマン Money Man」

第4回 1996. 11/9(土) 50年代再考

「ゴジラ」

第5回 1997. 1/11(土) 名作

「ローマの休日」

第6回 1997. 3/8(土) 巨匠の名画

「雨月物語」

・講座

美術館鑑賞講座 当館講堂にて

第1回 1996. 6/15(土) 講師 藤田裕彦(当館美術学芸員)

「現代美術の愉しみ方 Ⅲ」

第2回 1996. 6/29(土) 講師 横山秀樹(当館普及係長)

「1895年のナビたち」

第3回 1996. 7/6(土) 講師 小見秀男(当館学芸係長)

「日本の美」

第4回 1996. 9/15(日) 講師 クレオ・プロトクリストヴァ

(プロヴディフ大学准教授 ブルガリア)

「鏡・象徴—図像から哲学へ」通訳 早川正子

第5回 1997. 1/12(日) 講師 宮下東子(当館美術学芸員)

「素材を知る」

第6回 1997. 3/15(土) 講師 澤井由香子(当館美術学芸員)

「横山操・加山又造展を楽しむ」

美術講座 当館講堂にて

1996. 5/18(土) 講師 平石昌子(当館美術学芸員)

「絵画の見方 ボテロの場合」

1996. 9/18(水) 講師 桐原浩(当館美術学芸員)

「西洋美術のなかの神と人間 ピエタ」

1997. 3/15(土)

第6回美術鑑賞講座と兼ねる

音楽鑑賞講座 「私の好きなレコード・CD」

講師 前川誠郎(当館館長) 当館講堂にて

第1回 1996. 12/14(土) ショパンとシューマン

第2回 1997. 1/18(土) シューマンとブラームス

第3回 1997. 2/15(土) ヴェルディ「椿姫」

第4回 1997. 3/22(土) 特集・弦楽四重奏曲

・作品解説会

ボテロ展

1996. 4/28(日)作品解説会(平石昌子 当館美術学芸員)

1996. 4/29(月)作品解説会(親跡峻 当館学芸課長)

1996. 5/3(金) 親と子のギャラリートーク(宮下東子 当館美術学芸員)

1996. 5/4(土)友の会作品鑑賞会(平石昌子 当館美術学芸員)

1996. 5/5(日)作品解説会(桐原浩 当館美術学芸員)

1996. 5/6(月)作品解説会(横山秀樹 普及係長)

1996. 5/15(水)長岡市民美術鑑賞会(平石昌子 当館美術学芸員)

エルミタージュ美術館特別名品展

1996. 8/6 8/13 8/20 8/27 9/3 9/10 10/1 10/8 10/15

作品鑑賞会(桐原浩 当館美術学芸員)

1996. 8/7(水)長岡市民美術鑑賞会〈親子〉(宮崎俊英 当館主任学芸員)

1996. 8/7(水)親と子のギャラリートーク(宮崎俊英 当館主任学芸員)

1996. 8/21(水)親と子のギャラリートーク(宮下東子 当館美術学芸員)

1996. 8/28(水)長岡市民美術鑑賞会〈一般〉(桐原浩 当館美術学芸員)

戦後の書・その一変相 江口草玄

1996. 11/2(土)作品解説会(松矢国憲 当館美術学芸員)

1996. 11/6(水)作品解説会／長岡市民美術鑑賞会

(松矢国憲 当館美術学芸員)

1996. 11/16(土)作品解説会／友の会作品鑑賞会

(松矢国憲 当館美術学芸員)

1996. 11/30(土)作品解説会(松矢国憲 当館美術学芸員)

1996. 12/14(土)作品解説会(松矢国憲 当館美術学芸員)

横山操・加山又造展

1997. 2/16(日)友の会作品鑑賞会(澤井由香子 当館美術学芸員)

1997. 2/18(火)作品解説会(横山秀樹 当館普及係長)

1997. 2/25(火)作品解説会(澤井由香子 当館美術学芸員)

1997. 2/26(水)長岡市民美術鑑賞会(澤井由香子 当館美術学芸員)

1997. 3/4 (火)作品解説会(澤井由香子 当館美術学芸員)

1997. 3/11(火)作品解説会(親跡峻 当館学芸課長)

1997. 3/18(火)作品解説会(横山秀樹 当館普及係長)

・レファレンス

ロビーの一角にレファレンスコーナーを設け、美術書を備え、来館者が自由に閲覧できるように提供。

「世界の巨匠シリーズ」全 55 巻 美術出版社

「世界の巨匠シリーズ別巻」全 5 巻 美術出版社

「日本の水彩画」全 20 巻 第一法規

「日本美術全集」全 23 巻 講談社

「東山魁夷」全 5 巻 講談社

「世界の遺跡」全 13 巻 講談社

「20 世紀日本の美術」全 18 巻 集英社

「平山郁夫全集」全 7 巻 講談社
「現代日本の陶芸」全 10 巻 淡交社
「岩波 世界の巨匠」全 12 巻 岩波書店
「岩波美術館」全 24 巻 岩波書店
「国際版 世界の美術館」全 15 巻 講談社
「エドワード・ホッパー」ベネディクト・タッシェン出版
「アンリ・マティス」ベネディクト・タッシェン出版
「トウールーズ・ロートレック」ベネディクト・タッシェン出版
「ポール・ゴーガン」ベネディクト・タッシェン出版
「クロード・モネ」ベネディクト・タッシェン出版
「現代美術」ベネディクト・タッシェン出版
「新潟県立近代美術館 所蔵品目録」1993
「大光コレクション展」1993
「野間コレクションとその時代展」1993
「ベルギー現代美術館」1993-94
「佐々木象堂とモダニズム」1994
「シリーズ新潟の美術 '94」1994
「シカゴ美術館展」1994
「カール・ラーション展」1994
「山種美術館展」1994
「佐藤哲三展」1995
「シリーズ新潟の美術 '95」1995
「ヨーロッパ工芸新世紀展」1995
「子どものための美術展'95」1995
「金鈴社の五人展」1995
「中国現代絵画名作展」1995
「新潟県立近代美術館 研究紀要 第 1 号」1995

・刊行物

平成 8 年度展覧会案内リーフレット (A4 三つ折り カラー 40,000 部)

各展覧会図録

エルミタージュ美術館特別名品展

2,000 円 (B4 版変形 本文 218 ページ 3,000 部)

戦後の書・その一変相 江口草玄

2,000 円 (A4 版変形 本文 128 ページ 1,200 部)

横山操・加山又造展 2,000 円 (A4 版変形 本文 95 ページ 2,000 部)

シリーズ新潟の美術 '96 1,200 円 (本文 97 ページ 1,000 部)
巡回ミュージアム鑑賞の手引き (A4 変形 6,100 部)
「新潟県立近代美術館 所蔵作品より」2,00 円 (A4 版 本文 16 ページ 4,500 部)
新潟県立近代美術館便り「雪椿通信」第 6 号 (A4 8 ページ 5,000 部)
新潟県立近代美術館便り「雪椿通信」第 7 号 (A4 8 ページ 8,000 部)
研究紀要 第 1 号 (A4 70 ページ 1,000 部)
研究紀要 第 2 号 (A4 58 ページ 700 部)
企画展鑑賞資料
ボテロ展鑑賞シート (B4 変形 5,000 部)
エルミタージュ美術館特別名品展パンフレット (A4 8,000 部)
エルミタージュ美術館特別名品展児童用鑑賞資料 (A5 15,000 部)
エルミタージュ美術館特別名品展鑑賞の手引き (A5 40,000 部)
戦後の書・その一変相 江口草玄 鑑賞シート (A3 3,000 部)
横山操・加山又造展鑑賞シート (A5 5,000 部)

・ハイビジョンシステム 無料

ギャラリー I 110 インチの大型画面 40 席
ギャラリー II 60 インチの中型画面 4 席 (車椅子スペース有り)
上映番組

- ・新潟県立近代美術館オリジナル番組 (10)
 - 1 カリアティードとアトランド オーギュスト・ロダン
 - 2 新しい絵画への予言 ポール＝エリー・ランソン
 - 3 創造と抵抗のはざままで ケーテ・コルヴィッツ
 - 4 日本洋画の開拓者たち 大光コレクション戦前編
 - 5 近代日本洋画の黎明 小山正太郎とフォンタネージ
 - 6 北蒲原に生きた画家 佐藤哲三
 - 7 館所蔵品に見る近代日本画の画家たち
 - 8 内なる心の美 土田麦僊
 - 9 情熱と行動の画家 横山操
 - 10 蠟型鑄造の世界 新潟の金工
- ・美術の楽しみ (10)
- ・連作の魅力 (12)
- ・都市の表情 (4)
- ・オルセー美術館 I (9)
- ・シカゴ美術館

・データブース 無料

32 インチ画面 ペンタブレット方式

所蔵品の内 1420 作品について検索可能 文字情報は印刷可
利用回数 3517 回(96. 1. 18~97. 7. 15)

・観覧料免除

新潟県内の小・中・高等学校での教育課程に基づく教育活動としての生徒と引率者、及び心身障害者の介助者・医療担当者等に対し、観覧料を免除。

免除者数 10,865 名

収集・保存

・平成 8 年度収集作品一覧

「世界の美術」

油彩 ルオー「晩秋 No.3」1943~52 油彩キャンバス 104×74

彫刻 ポテロ「母性」1989 ブロンズ 246×130×142

(1600 年頃の刷り) 木版画 48.7×32.6

版画 E・オルリック「日本の版画家」1900~01 多色木版画 20.7×17.8

版画 F・ゴヤ「カプリチヨス」より No.4 No.21

1797~98 銅版画 20.5×15.0 21.5×14.5

「日本の美術」

日本画 奥村土牛「少女図」1926 絹本彩色 58.3×55.2

写真 濱谷浩「學藝諸家」30 点 モノクローム・プリント 19.5×29.5

書 江口草玄「野ばら」1950 墨・紙 33.0×47.0

書 江口草玄「作品 No.6」1955 墨・紙 131.5×98.0

書 江口草玄「天心」1964 墨・紙 64.5×48.5

書 江口草玄「不動明王」1964 墨・紙 180.0×240.0

書 江口草玄「一機一瞬」1966 墨・紙 210.0×735.0

書 江口草玄「はかなさは」1975 墨・紙 31.5×29.0

書 江口草玄「一期は夢よ」1984 墨・紙 28.0×47.0

書 江口草玄「行けども荒野」1984 墨・紙 34.5×44.5

書 江口草玄「夢為胡蝶」1996 墨・紙 136.0×67.5

「新潟の美術」

洋画 三浦文治「佐渡のイカ干し」1938 絹本彩色 180.0×125.0

洋画 三浦文治「越前国勝山町左義長祭り」制作年不詳 卷子 950.0×45.0

洋画 中澤茂「グアテマラの女たち」1969 油彩キャンバス 259.0×194.0

洋画 中澤茂「老婆の高笑い」1968 油彩キャンバス 227.0×200.0

洋画 安宅安五郎「野尻湖外人別荘」他 8 点

・野外彫刻設置事業

平成 8 年度は第 2 次計画の最初の年にあたる。

11/12 第 1 回検討委員会

12/6 第 2 回検討委員会 作家選考 4 人の依頼作家を決定

竹田康宏 舟越直木 青木野枝 松井紫朗

12/13 第 1 回現地説明会

依頼作家の来館を請い、計画の概要、設置条件を説明

2/19 第 2 回現地説明会

依頼作家の設置現場の積雪状況を確認。構想案の提示と質疑。

マケット提出を 4/18 までとし依頼。

調査・研究

・各展覧会に関する調査、研究

学芸員はそれぞれ担当した展覧会についての調査、研究を行った。成果は、各展覧会図録、新聞等に発表された。

・研修

第 8 回近現代美術専門研修会(第 1 年次)

会期 平成 9 年 2 月 17 日(月)～2 月 21 日(金)

主催 文化庁 京都国立近代美術館

会場 京都国立近代美術館

参加者 桐原浩美術学芸員

・研究紀要の発行

収蔵作品について、あるいは各展覧会においての学芸員の個々の研究成果をまとめ、研究紀要を発行した。

「第1号」内容

・大正初期の土田麦僊における風景画の成立と推移について

—小野竹喬との関係と類似性—

横山秀樹(当館普及係長)

・佐々木象堂作〈鑄銅色絵鸚哥置物〉について

—高村豊周と佐々木象堂の工芸観をめぐって

藤田裕彦(当館美術学芸員)

・ケーテ・コルヴィッツ作〈母と二人の子〉の制作課程について

桐原浩(当館美術学芸員)

・子どもの感性を育てる鑑賞教育

—子どものための美術展 '95 より

宮下東子(当館美術学芸員)

・小泉成一〈小春ノ日和〉(新潟県立近代美術館蔵)について

小見秀男(当館学芸係長)

・Buddhismus und Shintoismus in Japan / Seiro Mayekawa

「第2号」内容

・私の顔が青いのは

—モーリス・ドニク夕映えの中のマルト マルト・サンボリスト〉1892年

佐々木奈美

子(当館美術学芸員)

・江口草玄の非文字の作品について

—1950年代前半における書の解体とその帰趨

松矢国憲(当館

美術学芸員)

・子どもの想いや願いが生きる鑑賞活動

宮崎俊英(当館主任学芸員)

・「大正初期の土田麦僊における風景画の成立と推移について」
－小野竹喬との関係と類似性」の一部訂正について
館普及係長)

横山秀樹(当